

2019(令和元)年度 学校評価結果のまとめ

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日はお忙しいところ学校評価のアンケートにご協力いただきありがとうございました。

295名(回収率69.9%)の保護者の方々よりお答えいただきました。また、同時に生徒にもアンケートに答えてもらうとともに、教職員にも自己評価を実施しました。

以下にその集計結果と読み取った課題と今後の方向性などについて、ご報告いたします。この「結果のまとめ」をこれからの学校運営に活かしてまいりたいと考えますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

◇分析の各項目における割合は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計です。

1 学校生活

【生徒】

- 学校に行くのは楽しい(72.6%)
- 自分からあいさつをしている(74.3%)
- 礼儀正しく行動している(75.1%)
- 時間や学校の決まりを守っている(68.9%)

【保護者】

- 子供は学校が楽しそうだ(80.7%)
- 子どもは自分からあいさつをしている(83.2%)
- 子どもは礼儀正しく行動している(82.8%)
- 子どもは時間や学校の決まりを守っている(87.7%)



本校では、目指す生徒像として、「自らの考えに自信と誇りを持ち、未来を見据えていく生徒」を掲げ、「自ら学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「心身ともにたくましい生徒」を目標に取り組んでまいりました。その結果、「学校に行くのは楽しい」の項目については今年度も生徒・保護者ともに7割以上の評価をいただくことができました。学校としても最も重要な項目であり、ありがたい結果と受け止めております。しかしながら、3割の生徒はそう感じていないことを肝に銘じ、今後もそれらの生徒にしっかりと目を向け、全ての生徒が学校に行くことに前向きな気持ちでいられるように努めてまいりたいと思いますので、ご家庭でもご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

「自分からあいさつをしている」の項目でも生徒の評価が昨年度より2%高くなり、今年度も高い評価をいただくことができました。学校生活の柱として継続して取り組んでいきたいと考えています。今後もより一層、学校の内外を問わず笑顔で明るくあいさつできる生徒の育成に努めてまいりますので、ご家庭や地域におかれましても引き続きご指導くださいますようお願いいたします。

「時間や学校の決まりを守る」「礼儀正しく行動している」の項目は今年度も肯定的な回答の割合は高いですが、生徒・保護者との認識の差があります。生徒の規範意識が高まっているなかで自分について厳しめに回答した生徒もいるかもしれませんが、学校生活全ての活動を支える基盤となる両項目が崩れてしまわないよう、気を引き締めて指導に取り組んでいかなければと考えております。ご家庭でもお話いただければと思います。

2 授業

【生徒】

- 授業にまじめに取り組んでいる(76.0%)
- 授業はわかりやすい(59.9%)
- 自分の学力は適切に評価されている(74.7%)



【保護者】

- 子どもは授業にまじめに取り組んでいるようだ(86.2%)
- 子どもは授業はわかりやすいと言っている(55.3%)
- 子どもの学力は適切に評価されている(85.1%)

今年度の取り組みの重点の一つとして「自ら学ぶ生徒」を掲げ、2021年度完全実施の新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」ができるよう、授業研究に取り組んでまいりました。教員向けのアンケートでも「わかりやすい授業作りに努めている」の値が100%で、わかりやすい授業づくりに努めています。また、授業の様子を参観された学校評議員の方からは、ICT機器の活用や、話し合い活動などを踏まえ、授業改善に努めていると評価されています。しかしながら、「授業は分かりやすい」の項目は、生徒・保護者において、昨年度より肯定的な回答の割合は15%低くなり、大きな課題を感じています。

学校では、学習の基本である授業が子ども達にとって常にわかりやすいものであることを目指し、さらに生徒が自ら主体的に学べる授業づくりを進め、基礎的・基本的な知識や技能の習得や学習に対する意欲の向上のため、今後も教材研究や授業形態の工夫、家庭学習のサポートなどに努めてまいります。

「授業にまじめに取り組んでいる」の項目は今年度も8割近い生徒から肯定的な回答を得ることができ、保護者の方からも高い評価をいただくことができました。また、授業を参観された学校評議員の方や教育委員会等の方からも落ち着いた雰囲気のもとまじめに授業に取り組んでいる生徒の姿に評価を得ております。学習の基本である学校の授業が落ち着いて取り組めていることは、『主体的・対話的で深い学び』を推し進める上で最も大切な要件であります。授業が教師による一方的な指導ではなく、生徒による体験的学習や教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークを中心とするような授業に移り変わるなか、静と動のけじめをつけ、規律を重んじまじめに取り組むことはこれまで以上に重要になってまいります。今後もこの良い習慣を継続してさらに高められるよう指導していきたいと考えております。ただ、生徒と教員の間での違いがあり、生徒の方が「まじめに取り組んでいる」と考えている割合が低いことに注視をし、授業参加がより主体的になるような改善に取り組めます。

「学力は適切に評価されている」の項目では、今年度も生徒、保護者とも肯定的な回答の割合で高い評価を得ることができました。自分の学習に対しての取り組みや身についた学力が適切に評価されていると感じられることは、次の学習への励みにもつながります。生徒の学習意欲を向上させていくためにも、学校としてバランスの取れた適切な評価となるよう、今後も研究に努めてまいります。

3 生徒指導・生徒支援

【生徒】

- 自分も他人も大切にしている(68.0%)
- プラス言葉を使い、マイナス言葉を使わぬよう心がけている(69.1%)
- 困ったときなどに相談できる先生がいる(55.1%)
- 先生はいじめがなくなるよう取り組んでくれている(64.9%)

【保護者】

- 子どもは自分も他人も大切にしている(84.9%)
- 子どもはよい言葉を使うよう心がけている(69.0%)
- 子どもは困ったときなどに相談できる先生がいると言っている(59.7%)
- 先生はいじめがなくなるよう取り組んでくれているようだ(73.7%)



「自分も他人も大切にしている」の項目では、生徒では肯定的な回答の割合が昨年度に比べると大幅な減少傾向にあり、8割を超えていた数値が7割以下となっています。今年度、3割以上の生徒が自分や他人を大切にしない、と捉えているということは大きな課題です。相手を気遣う言葉かけや振る舞い、わがままとは異なる「自分を大切にすること」について、学校や家庭が協力して子どもたちに伝えていく必要があります。学校でも生徒の意識が高まり、実際の行動に表れていくよう指導に取り組んでまいります。また、その行動と切り離せない「プラス言葉を使い、マイナス言葉を使わない」などの心を育む指導も引き続き、あらゆる学校生活の場面において取り組んでまいります。ご家庭におかれましても折にふれ、ご指導くださいますようお願いいたします。

「困ったときなどに相談できる先生がいる」の項目では、昨年度まで肯定的な回答の割合が年々増加してきましたが、今年度は生徒、保護者ともに肯定的な回答が6割台から5割台に下がりました。また、職員のアンケート結果からもこの項目についての肯定的な回答の割合が特に低い結果となっております。本来、肯定的な回答の割合が高

くなりにくい性質の質問であり、中学生なので、家族や友人に相談したり、自分で解決できることも大切です。しかし、大事に至る前に、学校や学習に関することには「まず先生に相談してみよう」と生徒が思えるよう、職員一人ひとりが気を配って信頼関係づくりに努めていかなければならないと考えております。ご家庭でもお子さんと話す機会を多く持っていただき、気になることや心配なことがございましたら学校にご相談いただき、子ども達が明るく元気な姿で過ごせるよう、連携を図っていかれればと考えております。

「先生はいじめがなくなるよう取り組んでくれている」の項目では、保護者8割弱、教職員100%の肯定的な評価に対して、生徒の肯定的な回答の割合は今年度は6割を割る評価となりました。学校では『いじめは絶対にダメ』のスタンスを貫き、いじめにつながり得る小さな芽を早期に摘み取りいじめ防止に努めておりますが、学年によっては約4割の生徒が否定的な評価をしている部分もあり、大人の見えていないところで悩んでいる生徒がいるのかと思うと苦しい限りです。厳しい結果となってしまいましたが、これが現状を表していることを職員一人ひとりが深く心に刻み、これからより一層「いじめは絶対に許さない」という姿勢を貫きながら、生徒の成長を支えていきたいと考えております。

4 進路

【生徒】

- 体験的な学習で学んだことは将来役立ちそうだ(65. 5%)
- 学校では、将来の生き方を考える時間がある(70. 4%)
- 学校では、卒業後の進路について情報を知らせてくれる(75. 4%)



【保護者】

- 子どもが体験的な学習で学んだことは将来役立ちそうだ(83. 5%)
- 学校では、将来の生き方を考える時間がある(60. 0%)
- 学校では、卒業後の進路について情報を知らせてくれる(70. 3%)

今年度も進路通信を3年生だけでなく1・2年生にも配付いたしました。その結果、「卒業後の進路についての情報を知らせてくれる」の項目は生徒・保護者ともに肯定的な回答の割合が7割を超えています。主に3年生に向けての情報発信となっている進路通信ですが、1・2年生にとっても義務教育の終了に向けてどのようなことを考え、準備していかなければならないかの目安になったことと思います。来年度以降も全学年に配付してまいりますので、予測不能な社会の変化はありますが、3年生になって慌てないためにも進路通信を基に、ご家庭で将来のことや中学校卒業後の進路について話す時間を多くとっていただければと思います。

「体験的な学習で学んだことは将来役立ちそうだ」「将来の生き方を考える時間がある」の項目については、概ね高い評価をいただくことができました。進路指導とは本来、将来どのような人になりたいか、そのためにはどのような生き方が必要かを考え、自分の適性や可能性をもとに、よりよい進路選択ができる能力を育むことであると考えます。そのための体験的な学習については、今までの形にとらわれず、より有効な学習を検討し、実施してまいりたいと考えています。

5 行事・生徒会

【生徒】

- 学校行事に積極的に参加している(76. 0%)
- 生徒会・委員会・系の活動に積極的に取り組んでいる(78. 7%)



【保護者】

- 子どもは学校行事に積極的に参加している(87. 7%)
- 子どもは生徒会・委員会・系の活動に積極的に取り組んでいる(79. 3%)

「学校行事に積極的に参加している」「生徒会・委員会・系の活動に積極的に取り組んでいる」の項目とも高い評価となっております。3年生の面接練習で、中学校生活のなかで一番印象に残っていることはという問いで、ほとんどの生徒が学校行事である体育祭や合唱コンクールと答えます。クラスメートと協力しながら一つのことをやり遂げていくことの難しさ、それを乗り越えてやり遂げた時の達成感を得られる行事は、人間的な成長を促していくうえでとても重要な役割を担っています。また、日常の学校生活を支える生徒会・委員会・系の活動も生徒の自主性や責任感を育む役割を担っています。今後も生徒一人ひとりが輝いて活躍できる活動になるよう工夫に努めてまいります。

6 保護者・地域連携

【生徒】

- 学校の様子を保護者に伝えている(59. 5%)

【保護者】

- 子どもは学校の様子を保護者に伝えている(76. 1%)



「学校の様子を保護者に伝えている」の項目は、生徒、保護者とも肯定的な回答の割合が昨年度より低い結果となりました。中学生の時期は自分から話すことが少なくなってきました。折を見て学校的话题を振ってみるなど、ご家庭での対話を続けていただければと思います。学校では「学校だより」「学年だより」や学校ホームページをとおして生徒の活動の様子、行事の日程や内容についてお知らせしております。それらをきっかけに保護者の方からお子さんと学校の様子を話し合う時間を作っていただくことも有効かと考えます。また、内容によっては連絡メールも活用してお知らせをしております。学校では、確実に保護者の方に渡すよう学校でも生徒への声かけを行ってはまいります。ご家庭におかれましてもご確認をお願いいたします。

地域連携につきましては、今年度も吹奏楽部や文芸部、ボランティアの生徒を中心に地域のお祭りや公民館の催しに参加したり、家庭科の授業では地域団体等のご協力を得て、乳幼児と実際に触れあう体験をさせていただくことで授業で学んだ内容を深めております。また、地域の小学校とも、合唱コンクールの最優秀クラスの発表を行ったり、本の読み聞かせ等の場を与えてもらいながら連携を図っております。今年度は、臨時休校の関係で、読み聞かせを実施することはありませんでしたが、年下の子どもたちのために選書をしたり、わかりやすい読み方の練習をしたりするなど、普段の教育活動の中では体験できない学習ができました。快く協力していただいている地域の皆様に感謝申し上げますとともに、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

7 施設・安全管理

【生徒】

- 学校では、地震等の災害の時にどう行動すべきか教えてくれる(88. 5%)

【保護者】

- 学校では、地震等の災害の時にどう行動すべきか教えてくれる(80. 1%)



近年、毎年のように大地震の発生や想定外の豪雨等の自然災害が発生しており、災害発生時にまず自分たちの命を守るために必要な行動が正しくとれることが求められています。学校でも様々な災害を想定しての避難訓練や授業をとおして防災教育を行っておりますが、さらに社会の変化に対応した災害への正しい知識や行動が身につけられるよう指導に努めてまいります。

「校舎の老朽化」に対する要望は毎年いただいておりますが、財政上の問題が大きく、希望どおり進まない現状にあります。老朽化に伴う不具合等が多く、使用に支障のある部分について学校でできる修繕については迅速な対応を心がけております。また、生徒の安全にかかわる問題はすぐに対応してもらえるよう市には引き続き強く要望してまいります。安全でかつ古くても掃除の行き届いたきれいな校舎をめざし、清掃に取り組む姿勢と、公共物を大切にすることを心を持った生徒の育成に今後も努めてまいります。

次年度の取り組みについて

「子どもの健やかな成長」は保護者、教職員にとって共通の願いです。学校評価をこの願いを実現するための一つの手段と考え、その分析をとおして見えてきた教育活動全般にわたる現状や課題を学校・家庭・地域が互いに共有し、協力・連携しながらチームとしてその成長に向けて取り組んでいくことが大切です。今回いただきました評価やご意見を参考に、次年度の教育計画や取り組みの重点に反映してまいります。今後も本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

※学校評価アンケートの集計結果の詳細につきましてはご覧になりたい方は、職員室にて教頭にお申し出ください。